

編集後記

▼紙芝居と聞いたら皆さんはどんな印象ですか？取材先で見た紙芝居はただ読むだけではなく、体全体や小道具を使い表現していました！一つの物語でも伝え方によって印象が違うものだなと思いました。▼先日、久しぶりに発熱！孤独な戦いは辛いですね。（杉澤）

▼私事ですが、先日入籍しまして『大屋』から『濱』になりました。これからは、仕事と主婦業の両立を目標に、頑張っていきたいと思えます。▼熱中時間の取材で、厚岸はしご酒実行委員会の皆さんとお話をしました。『厚岸を盛り上げたい！』という熱い思いがひしひしと伝わり、応援したい気持ちが強まりました。お酒はあまり強くはありませんが、ビアガーデンに参加して、盛り上がりたと思います。（濱）

▼高知中学校の運動会の取材へ。地域が一体となった運動会は、笑顔が印象的で取材も楽しかったです。▼今年は、北海道と命名されて150周年。北海道の名付け親である松浦武四郎と厚岸の縁を学芸員の全面協力にて特集しました。11月には、海事記念館にて松浦武四郎の特別展を開催予定ですので足を運んでみてはいかがでしょうか。（余西）

ひとのうごき

●人口／ 9,471人 （-21）
男／ 4,495人 （-6）
女／ 4,976人 （-15）

●世帯／4,392世帯 （-10）

●出生／ 3人 ●転入／22人

●死亡／19人 ●転出／27人

5月31日現在（ ）内は前月比

■発行／厚岸町
■編集／総務課広報情報係
〒088-1192
北海道厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-3138

URL <http://www.akkeshi-town.jp>
E-mail akkeshi@akkeshi-town.jp
法人番号 5000020016624

厚岸町商工会青年部の部長である菅原さん。「ご当地のもので、みんなが飲めるサイダーを作りたいと思って」と話してくれました。厚岸町商工会青年部の皆で開発した『あっけしのサイダー かき塩味』は、町内の商店や飲食店で提供しており、「おかげさまで評判も良いみたいです」と手応えを実感している。

現在、厚岸町農業協同組合青年部と協力し、極めるくソフトとのコラボを模索中。また、今年は月形町のご当地トマトビールの視察を予定しており、「青年部同士で交流して、触発していけたら」と繋がり作りを大切にしている。「これからは、厚岸町民に定着していくよう努力していきたい。いずれば、地元のお土産として買ってもらえる存在になってくれたら嬉しい」と抱負を語った。

Close up - クローズアップ -



あっけしのサイダーを飲んで！
菅原 基記さん（39歳）



そば処 吉田

営業時間／11時～14時
定休日／火曜日 ほか不定休
真栄1丁目35番地 ☎ 52-2977



冷やし担々麺 800円

『そば処吉田』は、店主が東京都にある蕎麦屋で修行した後、修業元からのれん分けし、故郷である厚岸で昭和58年から始めた。今も当時と変わらず地元の人などの胃袋を満たしている。オススメは、5月から10月までの限定で提供している『冷やしたぬき』。さっぱりとしていて、これからの季節にぴったり。最初はまかないとして作っていたものをメニューとして取り入れたとのこと。

「なめこと大根おろしの入っためんつゆで食べる『寒なめそば』も、さっぱりしていておいしいよ」と話すのは、店主の三浦さん。気さくに話しかけてくれる店主の人柄も魅力の一つ。

もちろん、温かいメニューや定食メニューもあり。ぜひ、足を運んでみては。